

背景・目的

「**統合データベースタスクフォース報告書**」(H21.5.21 総合科学技術会議ライフサイエンスPT)

- ・我が国のライフサイエンス分野のデータベース統合にかかる実務や研究開発の中核機能を担うものとして「**統合データベースセンター**」を整備
- ・産出されたデータを利用者の視点に立って統合化し、効率よく研究者、産業界、さらには国民に還元していく、**統合データベースの構築が必要**

「**総合科学技術会議ライフイノベーション戦略協議懇談会**」(H25.1.17)

- ・第2段階においても、引き続きNBDCを中心とした**現行の体制で推進することを了承**

関係する主な政府方針:「**科学技術イノベーション総合戦略**」(H25.6.7 閣議決定)

- ・「Ⅱ. 国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現」健康寿命の延伸 未来医療開発
 - ①取組の内容 **ライフサイエンス系研究成果の統合データベース** ②社会実装に向けた主な取組 **統合データベース整備及びそれに必要な高度専門人材の育成**
- ・「Ⅳ. 地域資源を「強み」とした地域の再生」科学技術イノベーションの活用による農林水産業の強化 ゲノム情報を活用した農林水産技術の高度化
 - ①取組の内容 **データベース構築等の情報基盤の整備**

「**健康・医療戦略**」(H25.6.14 関係閣僚申合せ)

- ・「3. 新技術・サービスの基盤整備」(1)人的資源の活用、人材育成 ③新しい需要に対応するためのコメディカル等の活用
- 爆発的に増加している医療関係データや情報等を効果的に活用し、今後の**ライフサイエンス分野の研究開発を進展させる上で必要不可欠なバイオインフォマティクス人材の育成とキャリアパスを構築**

概要

第1段階(平成23~25年度)

第2段階(平成26年度~)

◆第1段階の取組◆

○組織体制整備

- ・独立行政法人科学技術振興機構/バイオサイエンスデータベースセンター(JST/NBDC)の立ち上げ

○4省「合同ポータルサイト(integbio.jp)」の構築

- ・データベース(DB)のカタログ登録 (約1,200件)
- ・横断検索の充実 (約 360件)
- ・アーカイブしたDBの提供 (約 60件)



○研究開発

- ・DB統合の基盤となる要素技術の開発 (基盤技術開発プログラム)
- ・植物ゲノム情報、タンパク質立体構造など、11の分野別・目的別の統合DBの構築・公開等 (統合化推進プログラム)

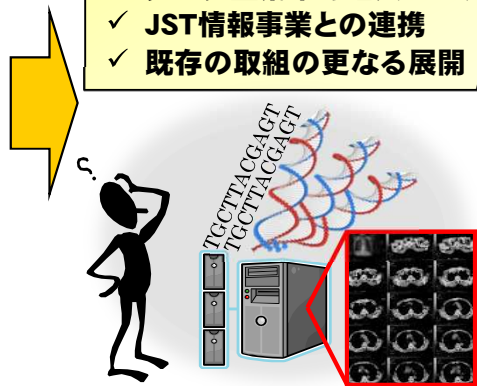
○人体に由来するデータ等の取扱い

- ・NBDCヒトデータ共有ガイドライン及びNBDCヒトデータ取扱いセキュリティガイドラインを策定

第2段階の方向性

平成25年1月17日
CSTPライフイノベーション
戦略協議懇談会 了承

- ✓ 人材育成
- ✓ データ量飛躍的増大への対応
- ✓ JST情報事業との連携
- ✓ 既存の取組の更なる展開



＜新たな課題＞

- ・合同ポータルサイトなどの連携基盤での**実効的な協力体制の構築**
- ・統合した**データベースの活用戦略**
- ・データベースを効果的に活用できる**バイオインフォマティクス人材の不足**
- ・人体由来データ等の**適切な共有・活用促進**

◆第2段階からの新たな取組◆

第1段階において構築した基盤を活用しつつ、新たに以下の取組を推進

①データ量の飛躍的増大への対応と人材育成

- ・大量・多様なデータを適切に処理・解析、有効活用できる環境整備
- ・バイオインフォマティクス人材を育成
→データベースの効果的活用促進



②JST「科学技術情報流通促進事業」等との連携強化

- ・文献情報DB、研究者・研究資源DB等との相互リンク
- ・戦略的創造研究推進事業等のファンディング事業との連携 (データ共有を視野に入れたデータ設計環境の醸成)
→データベースの利便性向上、効率的なデータベース構築



③既存の取組の更なる展開

- ・4省「合同ポータルサイト(integbio.jp)」の充実
- ・研究データの提供を依頼する対象研究課題範囲拡大
- ・国内外の関係機関との連携体制構築
→事業成果の社会実装に向けた取組を強化
- ・データ収集方法の標準化
→信頼性の高い統合データベースの構築
- ・ヒトデータの受入に向けた取組



共同研究体制による
基盤技術開発